

皆さまからお寄せいただく日赤会費や寄付金等を財源に、日赤島根県支部で実施した災害救護活動、救急法等の講習、ボランティアの育成などの歳出は以下のとおりです。

●地域での赤十字活動に
13,964千円
地域での赤十字活動の推進、地域の赤十字奉仕団支援等

●赤十字会員募集・広報活動に
15,335千円

●献血推進・保健衛生活動に
301千円

●赤十字病院・血液センター・乳児院の施設整備支援等に
2,210千円

●支部施設の維持管理・赤十字活動の運営に
35,190千円

●海外での救援活動等に
20,555千円
紛争・災害などに苦しむ海外の人々への救援活動、本社事業等

●災害救護活動と防災・減災の普及に
23,165千円
救護班の派遣、救援物資の備蓄、救護体制の強化のための訓練・研修、火災等の被災者への災害見舞金贈呈、防災セミナーの普及等



●救急法等を広める活動に
18,342千円
救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法講習の普及、指導員養成・研修、講習教材・資料整備等



●青少年赤十字活動とボランティア育成に
18,226千円
青少年赤十字活動の推進、指導者養成、防災教育事業、ボランティア育成・研修等

歳出

147,287千円

※千円未満を切り捨てて表記しているため合計金額は一致しません。また赤十字病院、血液センター、乳児院は施設毎の会計になっており上記には含まれていません。

活動資金(日赤会費・寄付金)へのご協力ありがとうございました *敬称略・順不同

3万円以上の日赤会費・寄付金にご協力いただき、掲載にご了解いただいた皆さまをご紹介します。(対象期間:令和2年3月1日～8月31日)

<p>●松江市 井上 孝治 柏井 郁子 河野 操 佐々木 純 澤本 浩 昌子 宗賢 豊田 智恵子 深田 八重子 二見 謙次郎 古瀬 誠 矢次 秀美 カナツ技建工業(株) (一財)ごうぎん財団</p>	<p>山陰中央テレビジョン放送(株) (株)島根銀行 島根電工(株) 島根トヨタ自動車(株) (株)ジャスタウェイ シャルレ畑本(有) 善福寺 龍覚寺 ●浜田市 小川 憲治 齋木 良司 曾我 悦子 中村 勝久 平野 光徳</p>	<p>(株)第一ホーム ●出雲市 吾郷 雄二 熱田 清 千家 尊祐 森脇 善男 安井 清 (福)あすなろ会職員有志一同 出雲大社 (株)環境理化学研究所 喜見寺 山陰防災電機(株) (株)永瀬 (有)平田開発</p>	<p>御井神社 ●益田市 大場 静枝 大場 勇治 大畑 勉 河野 龍之助 小河 吉彦 竹内 優機 増野 亮 大畑建設(株) 中国道路(株) 益田地域医療センター医師会病院 (株)森本建設 (株)ランドマック</p>	<p>●大田市 田平 律夫 松田 忠一 松村 公平 イワタニ島根(株) 田平労務管理事務所 物部神社 ●安来市 高見 明秀 山口 洋一 渡部 榮子 ●江津市 宮下 美壽 山脇 里美</p>	<p>●雲南市 周藤 郁夫 ●奥出雲町 簸上清酒(有) ●飯南町 (故)加藤 米子 ●美郷町 (有)西村土木 ●吉賀町 小笠原 康二 多田 利昭 報国寺</p>
---	--	--	---	--	--

※紙面の都合上ご紹介できませんが、この他にも多くの皆様から活動資金にご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

『いのちを救う活動』を継続していくために、活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ 日本赤十字社島根県支部 総務課 TEL(0852)21-4237



99	広島	払込取扱票	
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 1 4 7 0 4		7 2 1	
加入者名	日本赤十字社島根県支部		
※	(しまねの赤十字第88号)		
ご依頼人・通信欄	<p>おところ・おなまえ</p> <p>〒</p> <p>都道府県</p> <p>市郡区</p> <p>電話番号</p> <p>フリガナ 氏名又は名称</p> <p>以下の□内にレ印をご記入ください。</p> <p>●領収証の発行について</p> <p>□要 □不要</p> <p>●個人・法人(団体)の区分</p> <p>□個人として納入します</p> <p>□法人(団体)として納入します</p>		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号 広第7103号)	これより下部には何も記入しないでください。		

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 4 7 0 4
加入者名	日本赤十字社島根県支部
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
おなまえ	
ご依頼人	
料金	免
備考	免

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

しまねの赤十字

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Vol.
88
2020.10

一刻でも早く、
少しでも力に。

令和2年7月豪雨災害への対応

日赤島根県支部では、7月の豪雨災害に見舞われた方々に、タオルケットや緊急セット等の救援物資を搬出し、お届けしました。

日赤では全国の支部が万一の災害に備え、救援物資の備蓄と管理を行っています。

救援物資を荷下しする日赤職員ら
(島根県川本町)

島根の皆さまのご協力(日赤会費・寄付金)のおかげで、

私たちは、大切な“いのち”を救う活動をつづけていくことができます。

日ごろのご支援に心より感謝申し上げます。

編集・発行 日本赤十字社島根県支部
〒690-0873 松江市内中原町40
TEL 0852-21-4237
URL <http://www.shimane.jrc.or.jp>

※自治会・町内会を通じて、日赤への会費にご協力いただく場合には、この用紙は使用されず、所定の納入用紙をご使用ください。

※切り取ってご利用ください。

※この用紙は、振込専用紙です。窓口からの払込は手数料が免除されます。*ATMではご利用いただけません。

特集 令和2年7月豪雨災害 日赤の活動

令和2年7月初旬、西日本から東日本にかけて広い範囲で猛烈な雨が襲い、各地に大きな被害をもたらしました。日赤では、災害発生直後から医療救護班を派遣するなど、被災された方々のいのちと健康を守る活動に総力を挙げて取り組みました。

- 派遣した医療救護班等 令和2年8月24日現在
80班 (内訳：医療救護班54班、災害医療コーディネートチーム26班)
- 配布した救援物資 令和2年8月24日現在
毛布 2,268枚 緊急セット 1,238セット
タオル類等 55,651枚 安眠セット 997セット
ほか
- 受付した義援金 令和2年8月23日現在
25億2,873万9,159円 (被災県全域へ ※)



出発前に車両の消毒作業にあたる日赤救護班

新型コロナウイルス禍の被災地支援

今回の救護活動は、感染予防策に細心の注意を払って実施しています。日赤救護班は、新型コロナウイルス感染症対策として、全要員がサージカルマスクを着用、一人1つずつ消毒薬を携行して、その都度手指を消毒し、使用する資機材や車両もこまめに消毒しています。

また、被災地では、マスク・ビニール手袋・ウェットティッシュなどの衛生用品を含んだ『緊急セット』の要望が高まりました。



日赤が備蓄している緊急セット

あの時、あの場所にいたのは、日赤救護班でした。

日赤は、新型コロナウイルス感染症への対応として、横浜港へ停泊したクルーズ船や、武漢市からの帰国者一時滞在施設への救護班派遣など、政府からの要請に基づき、健康管理や経過観察等の支援活動を実施しました。

- クルーズ船へ派遣した救護要員数

延べ142人 (*全国の赤十字病院28施設から派遣)

- 武漢市からの帰国者一時滞在施設へ派遣した救護要員数

延べ113人 (*全国の赤十字病院18施設から派遣)



大型クルーズ船に乗り込む日赤救護班



ウイルスの感染が不安な状況下で、もしも目の前で人が倒れたら…厚生労働省が指針を発表しました。

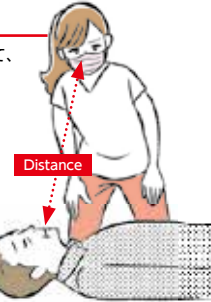
もしものときは!? コロナ禍における一次救命処置

呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て、呼吸の確認をします。(10秒以内)

point

傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないように



胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100～120回のテンポで押します。

point

ハンカチやタオルなどがあれば、傷病者の鼻と口にかぶせる



人工呼吸は行わない

point

救急隊に引き継いだあとは、速やかにせっけんと流水で手と顔を十分に洗います。傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄するのが望ましいです。

傷病者と救助者、すべての人に「感染防止」対策を！

今年5月、厚生労働省より「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法について（指針）」が示されました。コロナ禍でも人の命を救うために、できる限り感染防止に努めながら一次救命処置を実施していただけるよう、指針をお伝えします。

基本的な考え方

心肺蘇生にはエアロゾル（ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気）を発生させる可能性があるため、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応しましょう。

一次救命処置の具体的手順

①安全確認 ②反応（意識）を確認。顔を近づけすぎないこと ③119番通報とAEDの手配 ④呼吸を観察 ⑤胸骨圧迫。エアロゾルの飛散を防ぐため、開始前にハンカチやタオルなどを傷病者の鼻と口にかぶせる。マスクや衣服などでも代用できます ⑥人工呼吸は行わず、1分間に100～120回のテンポで胸骨圧迫を30回以上続けます（子どもへの人工呼吸は、その必要性が比較的高く、技術と意思がある場合に実施）。⑦AEDを使用する ⑧心肺蘇生を続ける

ポイントは、傷病者に顔を近づけすぎないこと、人工呼吸ができる場合でも成人では行わないことです。万が一の事態に遭遇しても、以上のことを忘れずに落ち着いて対応しましょう。

※この指針は、新しい知見や感染の広がりなどによって変更される場合があります。また、本記事の内容は、「赤十字救急法」の講習内容の変更をお知らせするものではありません。

PRESENT!

「ハートラちゃんぬいぐるみ」を5名様にプレゼント!

以下を明記のうえ、ハガキでご応募ください。

①名前 ②郵便番号 ③ご住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥本紙へのご意見・ご感想

●応募先 〒690-0873 松江市内中原町40 日赤島根県支部 総務課

●応募締切 令和2年12月25日(金) 必着

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



高さ約30cm

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ATMでは使用できません。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

払いただいた金額は、個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒690-0873 松江市内中原町40
日本赤十字社島根県支部
電話 (0852) 21-4237

この場所には、何も記載しないでください。

『いのちを救う活動』を継続していくために、活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

